

議 事 録

年 月 日	令和4年9月 29 日(木)午後7時から午後7時50 分まで
場 所	保健福祉センター 研修室
会 議 の 名 称	令和4年度第 1 回島田市健康づくり推進協議会
出 席 者	別紙1のとおり
要 旨	<p>今年度は委員の改選があり、各団体から推薦のあった委員に委嘱状(辞令)を交付した。その後、要綱第5条第2項により会長は松永和彦委員、副会長は畑中純子委員が選出された。感染対策の観点から短時間での実施とし、計画アンケートに関する各委員からの意見は、文書等により後日提出いただくことで対応することとした。</p> <p>【報告事項】</p> <p>事務から、主要死因の第1位が悪性新生物であること、県内での比較から老衰と脳内出血による死亡者が多い特徴があること、お達者度などについて島田市の健康状態の報告をした。</p> <p>また、第3次島田市健康増進計画の説明と計画の目標達成に向けた取り組みについて市の事業と絡めながら報告した。</p> <p>【意見交換】</p> <p>委員から、それぞれの組織における健康増進に関する取り組みの報告をしていただいた。</p> <p>議事の詳細は別紙参照。</p>

1 開会

2 委嘱状、辞令交付（各部会員は渡し済み）

高木委員については、オンラインでの出席。

資料等の確認。 宮地課長

3 部長挨拶

委員改正の年であること、市の健康課題等について、健康増進計画・食育推進計画に係るアンケート調査について。

4 島田市健康づくり推進協議会について 資料1 鈴木技監

島田市健康づくり推進協議会要綱に基づき、目的・所掌事務・部会を説明した。

5 会長・副会長の選任

事務局から、会長に島田市医師会松永和彦委員が、副会長に静岡県立大学畑中純子委員が提案され、承認が得られた。

※議長交代

6 報告事項

事務局から、島田市の健康状況について、国県と比較したSMRについて市の特徴を説明。お達者度について、最新の数値を伝えた。資料2

また、第3次島田市健康増進計画の説明と、計画の目標達成に向けた取り組みの主な事業報告を行った。資料3

7 情報交換（各委員の組織における健康増進に関する取組みについて）

小川委員：市内の就学前の虫歯の罹患率、県内でもトップクラスに良いが、中学1年生になると急に悪くなる。自分たちの今後の課題ととらえている。

浅野委員：CK ネットワーク事業を実施。お達者講座について徐々に地域住民に対する講座を再開している。今後も重点的に広げていきたい。

岩間委員：健康度は上位でいい。脳血管疾患についての話があったが、リハビリや介護保険のお世話になることが多いので、重点的に予防をしてほしい。ソーシャルキャピタルについて地域住民にわかりにくいので、市民に分かりやすい説明で普及をお願いしたい。

酒井委員：毎年人が変わってしまい、専門的なことは難しいが、特定健診のポスター貼付や健康マイレージの普及啓発、高齢者のふれあい活動等に参加して、健康に関する普及啓発をしている。また、動画配信で健康講座を受け、それを地域に返すような取り組みもはじめている。

大澤委員：島田汁などを皆様に振る舞いながら普及啓発をしていきたいが、コロナでなかなかできていない。高校生の料理教室や父と子の料理教室を実施した。シニアカフェなどに参加していく予定。早く皆様の前に出て共食の普及をしていきたい。

北川委員：市民1スポーツを普及している。ローズアリーナ、金谷・川根体育館で色々な講座を開催している。今年度はボッチャを始めた。母親が参加しやすいように託児を設けた講座も開催し好評である。トランポウォーク、ワンバウンドふらばーるバレーボールの教室を開催している。

大塚委員：自治会で健康のために何かやっているというのは取り組みにくいということもあり、直接的にはない。今まで体育大会やハイキングを年1回開催しても、健康づくりに繋がらない。日々の取り組みが大切と思う。しまトレは、市で推進してくれて取り組みやすい。普及し始めているのでそういった活動を支援しながら始めている。

男城委員:0~5歳児をもつ全保護者に対し周知しカウンセリングを実施。コロナ禍ではあるが何とか今年も開催できている。

鈴木委員:歯磨き習慣など取り組みをしている。健康づくり課と協力しブラッシング指導もやっている。中学校では、3年生を対象に自殺対策として相談ダイヤルなどを周知する講座を開催している。

廣住委員:高齢者対象のパワーリハビリ教室の実施。サポーターが指導し年間 560 回実施予定。

亀山委員:市内事業所の社員が健康診断を積極的に受けられるように補助を出している。また、ウォーキングに力を入れており、市内観光名所を回るウォーキングコースを作成。ウォーキングアプリなどを活用したイベントもしている。健康マイレージのポイント集めも職員で積極的にしている。

高木委員:患者さんに対しては健診受診を促している。年齢にもよるが、がん検診も積極的に勧めている。働いている若い人では、服薬を自己中断する人がいるので指導している。

中野委員:市民のスポーツ活動の支援、ニュースポーツの推進や環境整備、ジュニアスポーツ教室の開催等により運動のきっかけづくりを推進している。

大畑委員:地域医療を支援する会の医療学習会に医師や看護師を派遣し病気の予防について啓発している。12分野17人の認定看護師をおき、市民に対する学習会や介護スタッフとの学習会などで活動をしている。

畑 委員: 高齢者の介護予防と病気の予防の一体的実施に向け、連携会議を開催している。各制度の狭間に埋もれてしまう、支援を必要としているが隠れている人の発掘や、若い世代からの予防が大切。初期に意識をかえてもらうために国保は若い人への特定健診への助成を実施している。食推減塩対策への取り組みを3か年で実施していく予定。

畑中委員:色々な活動が根付いていくことが大切。そのためには、楽しいということが重要。専門家がやるのではなく、お互いがやっていく姿勢が重要。自治会でもこれから健康づくり活動へ、という話があったので、タイアップしながらやっていって欲しい。

8 アンケート調査について 資料4 資料5

事務局から、健康増進計画の策定に向け、今年度アンケート調査を実施する旨を説明した。調査の目的、方法、前回と比べて現時点で考えているアンケート項目の変更点について主に伝えた。

9 その他

岩間委員:高齢者の感染症予防と健康管理について資料提供。(県職の退職者向けの会報に掲載した内容)

松永会長:産業医の先生と先日話をした。新型コロナ感染者が出なかった班(部署)では、石鹸での手洗いの重要性を言っていた。新型コロナは、エンデロール(殻)があるウイルスなので、アルコール消毒が非常に重要。アルコール消毒時は十分な量を使い隅々まで消毒することが必要と説明していただいた。

10 事務局連絡

・アンケート調査についての質問があれば配布した用紙に記入の上、健康づくり課へ来週中に提出を依頼した。

・資料の中にアンケート調査のたたきを入れてあるため、項目を確認していただき、ご意見をお願いしたい。